

バランスシートで見る 市の財政状況

市では、財政状況をより分かりやすく示すため、バランスシート（貸借対照表）作成などの企業会計的手法を導入しています。バランスシートの作成により、市がこれまで整備した学校・道路などの保有状況や、これらを整備するために借り入れた負債の状況などが把握できます。左側には市が保有している『資産』、右側にはその資産を形成するために要した『負債』や『正味資産』が表示されています。

平成17年度 普通会計バランスシート（平成18年3月31日現在）

（単位：百万円）

借 方		
項 目	金 額	対前年度増減
【資産の部】		
〈市が保有している資産〉	704,259	50,724
1. 有形固定資産		
〈庁舎・学校・道路など〉	662,933	42,916
(1)土地	349,503	22,987
(2)建物・構造物等	313,430	19,929
2. 投資等		
〈投資その他の資産等〉	15,880	1,885
(1)投資及び出資金	2,555	205
(2)貸付金	780	327
(3)基金	12,545	1,353
3. 流動資産		
〈現金・預金・債権〉	25,446	5,923
(1)現金・預金	19,217	4,920
(2)未収金	6,229	1,003
資産合計	704,259	50,724

貸 方		
項 目	金 額	対前年度増減
【負債の部】		
〈市が負っている債務〉	215,060	14,514
1. 固定負債		
〈1年を超えて返済する額〉	200,161	13,947
(1)地方債	168,625	9,059
(2)引当金	31,536	4,888
(うち退職給与引当金)	(31,536)	(4,888)
2. 流動負債		
〈1年以内に返済する額〉	14,899	567
(1)地方債翌年度償還予定額	14,899	567
【正味資産の部】		
〈国・県からの補助金、一般財源等〉	489,199	36,210
負債・正味資産合計	704,259	50,724

資産の評価方法

- 昭和44年度以降に取得した資産について、国の基準に基づく決算統計データを用いて計上しています。
- 過去の実際の支出額を基礎とする取得原価主義を採用しています。
- 有形固定資産のうち、土地以外の資産について、残存価額をゼロとする定額法により減価償却しています。

◇市の資産総額は7,043億円（普通会計）

平成17年度のバランスシートでは、市の保有資産が約7,043億円、負債は約2,151億円で資産の30.5%、正味資産は約4,892億円で資産の69.5%を占めています。資産の内訳では、庁舎・学校・道路・下水道などの有形固定資産が約6,629億円で資産の94.1%を占め、残りが基金・現金・未収金などで合計約413億円です。負債の内訳では、市債が約1,835億円（固定負債に計上されている「地方債」と流動負債に計上されている「地方債翌年度償還予定額」の合計）で負債の85.3%を占めています。

◇資産は昨年度より507億円増加

平成16年度と比較すると、資産は約507億円増加、負債は約145億円増加、正味資産は約362億円増加しています。資産のうち、有形固定資産が約429億円増加していますが、このうち約419億円は合併により引継いだ資産となっています。負債では、地方債が約96億円増加し、退職手当引当金が約49億円増加していますが、いずれも主に合併の影響によるものです。

◇中核市平均との比較（平成16年度）

項 目	相模原市	中核市平均(※)
正味資産割合	69.3%	65.3%
将来世代負担比率	32.3%	37.7%

※「中核市平均」は、バランスシートを公表している中核市31市の平均値

○正味資産割合（正味資産／資産）

資産に占める正味資産の割合で、企業でいう自己資本比率に相当。高いほど財政状況は健全といえます。

○将来世代負担比率（負債／有形固定資産）

将来世代により返済しなければならない負債の割合。低いほど財政状況は健全といえますが、世代間の負担の公平性も考慮する必要があります。